

NO！リニア

No. 139

2022年5月18日

JR東海労働組合

JR東海労HP
にアクセス↓



**住民の理解は得ている(会社)、しかし
現実には強引な説明会で住民の理解は得られていない！
各地で住民・市民団体等からの訴訟！
ここまでしてリニアは本当に必要なのか！**

会社は、リニア建設工事について「住民の理解は十分得ている」とマスコミ等の質問に答えています。しかし、説明会に参加された方々の意見は「質問に対しての回答を明確に行わない」「安全の根拠を示さず、時間を理由に説明会を打ち切り」「住民の理解を得たとウソぶいている」等、会社の不誠実な対応に不満の声が上がっています。

また、そのような不誠実な態度で工事を強引に進めようとする姿勢に対して、沿線住民や市民団体等による工事差し止め訴訟が行われています。このような状況でリニア建設への信任を得ているといえるのでしょうか？訴えられるということは、住民の理解が全く得られていない証左です。本当にリニアは必要なのでしょうか？

主な訴訟

訴訟名称（通称）	地域	提訴年月
ストップ・リニア！訴訟	沿線都県全域	2016年5月
南アルプス市リニア差し止め訴訟	山梨県	2019年5月
静岡県リニア差し止め訴訟	静岡県	2020年10月
田園調布リニア工事差し止め訴訟	東京都大田区、世田谷区	2021年7月